# 西洋なし（ラ・フランス）

| 発芽 | 展葉 | 開花始 | 満開 | 落花 | 収穫盛 |
|---|---|---|---|---|---|
| 3.24 | 4.17 | 4.22 | 4.25 | 5.2 | 10.11 |

平年値（東根市営田）北村山農業技術普及課調査

| 散布時期 | 適用病害虫名 | 散布薬剤名及び散布濃度（薬液100ℓ当たり） | | 農薬使用基準 収穫前使用時期 | 農薬使用基準 総使用回数 | 10a当たり散布量 | 注意事項（収穫前日数　総使用回数）を表す | 散布日（月／日） | 使用薬剤 | 使用濃度 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 休眠期 | 胴枯病 | 1．バッチレート | 原液 | 剪定時及び病患部削り取り直後 | 塗布は3回以内 | | 1．輪紋病のいぼ皮病斑や胴枯病斑が枝幹部にあるので、粗皮削りを必ず行い、病斑部を削り取り、胴枯病の病斑部へ塗布する。又、削り取りができない場合でも病斑部への塗布は必ず行う。<br>2．胴枯病の進行した枝は切除し、園外に持ち出し処分する。 | ／ | | |
| 発芽前（3月下旬） | ハダニ類<br>越冬病害虫<br>輪紋病　胴枯病<br>カイガラムシ類幼虫 | 水<br>1．ハーベストオイル<br>2．石灰硫黄合剤<br>又は、<br>トップジンM水和剤<br>3．アプロードフロアブル | （98ℓ）<br>（石灰硫黄合剤使用場合98ℓ）<br>50倍（2ℓ）<br>10倍（10ℓ）<br>1,000倍（100g）<br>1,000倍（100cc） | 発芽前<br>発芽前<br>前日まで<br>30日前まで | －<br>－<br>6回以内<br>2回以内 | 300ℓ | 1．胴枯病の見られる園は石灰硫黄合剤を使用する。先にハーベストオイルを溶かしてから石灰硫黄合剤を混用し直ちに散布する。 | ／ | | |
| 開花直前（4月中～下旬） | 黒斑細菌病 心腐れ症（胴枯病菌）<br>シンクイムシ類<br>ハマキムシ類 | 1．デランフロアブル<br>2．サムコルフロアブル10 | 1,000倍（100cc）<br>5,000倍（20cc） | 60日前まで<br>前日まで | 4回以内<br>3回以内 | 300ℓ | 1．デランフロアブルは、散布時間により薬斑が出る場合があるので乾きやすい時に散布する。 | ／ | | |
| 4月下旬（1回目） | ナシヒメシンクイ | ナシヒメコン | 10a当り100本を設置 | | | | 詳細は2ページを参照 | | | |
| 満開10日後（5月上旬） | 黒斑細菌病<br>心腐れ症（胴枯病菌）<br>（アブラムシ類）<br>（シンクイムシ類）<br>（ハマキムシ類） | 1．デランフロアブル | 1,000倍（100cc） | 60日前まで | 4回以内 | 450ℓ | 1．アブラムシ類発生園ではウララDF 2,000倍（収穫14日前まで、2回以内）を加用する。<br>2．シンクイムシ類、ハマキムシ類発生園ではフェニックスフロアブル 4,000倍（前日まで、2回以内）を加用する。<br>3．胴枯病は、この時期から胞子の飛散が始まるので防除間隔をあけないよう注意する。 | ／ | | |
| **この回以降の散布は殺虫剤解禁後とする** | | | | | | | | | | |
| 5月中旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>アブラムシ類<br>カメムシ類 | 1．オキシラン水和剤<br>2．トップジンM水和剤<br>3．ダントツ水溶剤<br>4．（バイカルティ）※2 | 600倍（166.6g）<br>1,500倍（66.6g）<br>2,000倍（50g）<br>1,000倍（100g） | 21日前まで<br>前日まで<br>前日まで<br>－ | 9回以内<br>6回以内<br>3回以内<br>－ | 450ℓ | 1．胴枯病の萎凋枯死花そうや、枯死枝を除去し、焼却する。胴枯病患部の削り取り痕や太枝の切り口にバッチレート（せん定時及び患部削り取り直後、3回以内）を塗布する。 | ／ | | |
| 5月下旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 | 輪紋病<br>胴枯病<br>シンクイムシ類 | 1．カナメフロアブル<br>2．ダイアジノン水和剤34 | 4,000倍（25cc）<br>1,000倍（100g） | 前日まで<br>14日前まで | 3回以内<br>6回以内 | 450ℓ | | ／ | | |
| 6月上旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 | 輪紋病　胴枯病<br>アブラムシ類 | 1．スクレアフロアブル<br>2．ウララDF<br>3．（バイカルティ）※2 | 3,000倍（33.3cc）<br>2,000倍（50g）<br>1,000倍（100g） | 前日まで<br>14日前まで<br>－ | 3回以内<br>2回以内<br>－ | 450ℓ | 1．黒斑細菌病の果実や枝は徹底して切除して処分する。<br>2．シンクイムシ類発生園ではウララDFに替えてスカウトフロアブル※1 2,000倍（前日まで、5回以内）を散布する。 | ／ | | |
| 6月中旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 おうとう隣接園 | 輪紋病・胴枯病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類<br>カイガラムシ類<br>ハダニ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．トップジンM水和剤<br>3．モスピラン顆粒水溶剤<br>4．ダニコングフロアブル<br>5．（バイカルティ）※2 | 2,000倍（50cc）<br>1,500倍（66.6g）<br>2,000倍（50g）<br>2,000倍（50cc）<br>1,000倍（100g） | －<br>前日まで<br>前日まで<br>前日まで<br>－ | －<br>6回以内<br>3回以内<br>1回<br>－ | 500ℓ | 1．この時期より雨が多い場合は輪紋病の感染が多くなるので散布間隔をあけないように注意する。<br>2．カイガラムシの被害が発生している園地ではモベントフロアブル 2,000倍（14日前まで、3回以内）を散布する。ただし、おうとうへの飛散に注意する。 | ／ | | |
| | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類<br>カイガラムシ類<br>ハダニ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．インダーフロアブル<br>3．モスピラン顆粒水溶剤<br>4．ダニコングフロアブル | 2,000倍（50cc）<br>5,000倍（20cc）<br>2,000倍（50g）<br>2,000倍（50cc） | －<br>7日前まで<br>前日まで<br>前日まで | －<br>3回以内<br>3回以内<br>1回 | | | ／ | | |
| 6月下旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 おうとう隣接園 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類<br>カイガラムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．オキシラン水和剤<br>3．テルスターフロアブル※1<br>4．コルト顆粒水和剤<br>5．（バイカルティ）※2 | 2,000倍（50cc）<br>600倍（166.6g）<br>3,000倍（33.3cc）<br>3,000倍（33.3g）<br>1,000倍（100g） | －<br>21日前まで<br>前日まで<br>前日まで<br>－ | －<br>9回以内<br>2回以内<br>3回以内<br>－ | 500ℓ | 1．オキシラン水和剤は、おうとうへの飛散に注意する。<br>2．降雨前防除を基本とするが、強い雨で薬液が乾く前に流された時は再散布する。<br>3．この時期は、特に適量散布に留意する。<br>4．コルト顆粒水和剤はル レクチェの果実に薬害が生じるおそれがあるので、混植園ではトランスフォーム フロアブル2,000倍（前日まで、3回以内）に替えて散布する。 | ／ | | |
| | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類<br>カイガラムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．パレード15フロアブル<br>3．テルスターフロアブル<br>4．コルト顆粒水和剤 | 2,000倍（50cc）<br>2,000倍（50cc）<br>3,000倍（33.3cc）<br>3,000倍（33.3g） | －<br>前日まで<br>前日まで<br>前日まで | －<br>2回以内<br>2回以内<br>3回以内 | | | ／ | | |
| 7月上旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 おうとう隣接園 | 輪紋病<br>ハマキムシ類<br>シンクイムシ類<br>コナカイガラムシ類若齢幼虫 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．オキシラン水和剤<br>3．ダイアジノン水和剤34<br>4．（バイカルティ）※2 | 2,000倍（50cc）<br>600倍（166.6g）<br>1,000倍（100g）<br>1,000倍（100g） | －<br>21日前まで<br>14日前まで<br>－ | －<br>9回以内<br>6回以内<br>－ | 600ℓ | 1．シンクイムシ類の発生が見られる園地では防除間隔があかないように注意する。<br>2．ナリアWDGはル レクチェの果実に薬害が生じるおそれがあるので、混植園ではファンタジスタ顆粒水和剤3,000倍（前日まで、3回以内）に替えて散布する。<br>3．降雨が続く場合や強い降雨の後は、次回散布まで間隔をあけない。 | ／ | | |
| | 輪紋病<br>シンクイムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．ナリアWDG<br>3．ダントツ水溶剤 | 2,000倍（50cc）<br>2,000倍（50g）<br>2,000倍（50g） | －<br>前日まで<br>前日まで | －<br>3回以内<br>3回以内 | | | ／ | | |
| 7月中旬 輪紋病・胴枯病の重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>アブラムシ類 カイガラムシ類<br>ハダニ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．オキシラン水和剤<br>3．オリオン水和剤40<br>4．マイトコーネフロアブル<br>5．（バイカルティ）※2 | 2,000倍（50cc）<br>600倍（166.6g）<br>1,000倍（100g）<br>1,000倍（100cc）<br>1,000倍（100g） | －<br>21日前まで<br>3日前まで<br>前日まで<br>－ | －<br>9回以内<br>2回以内<br>1回<br>－ | 600ℓ | 1．カメムシ類の発生園ではオリオン水和剤40に替えて、テルスター水和剤※1　1,000倍（前日まで、2回以内）を散布する。 | ／ | | |
| 7月下旬（2回目） | | ナシヒメコン | 10a当り50本を追加設置 | | | | 詳細は2ページを参照 | | | |
| 7月下旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病<br>胴枯病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．トップジンM水和剤<br>3．オキシラン水和剤<br>4．モスピラン顆粒水溶剤<br>5．（バイカルティ）※2 | 2,000倍（50cc）<br>1,500倍（66.6g）<br>600倍（166.6g）<br>2,000倍（50g）<br>1,000倍（100g） | －<br>前日まで<br>21日前まで<br>前日まで<br>－ | －<br>6回以内<br>9回以内<br>3回以内<br>－ | 600ℓ | 1．早生種（オーロラ等）はオキシラン水和剤に替えてオーソサイド水和剤80　600倍（3日前まで、9回以内）を使用する。なお、りんご以外への飛散に注意する。 | ／ | | |
| 8月上旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>ハマキムシ類<br>（ハダニ類） | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．オキシンドー水和剤80<br>3．バイスロイドEW※1 | 2,000倍（50cc）<br>1,400倍（71.4g）<br>2,000倍（50cc） | －<br>21日前まで<br>7日前まで | －<br>9回以内<br>2回以内 | 600ℓ | 1．早生種（オーロラ等）はオキシンドー水和剤80に替えてオーソサイド水和剤80　600倍（3日前まで、9回以内）を使用する。なお、りんご以外への飛散に注意する。<br>2．ナシヒメシンクイは桃、スモモなどの小折れが見られる場合は特に注意し、8月から9月中旬まで散布間隔を10日以上開けないようにする。<br>3．ハダニ類が発生した場合はコロマイト乳剤1,000倍（前日まで、1回）を単用散布する。ももの登録は収穫7日前までなので、収穫期のももに飛散させない。<br>4．ベルクート水和剤は仁桃種、ル レクチエに薬害のおそれがあるので飛散させない。 | ／ | | |
| | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．ベルクート水和剤<br>3．アーデントフロアブル※1 | 2,000倍（50cc）<br>1,000倍（100g）<br>2,000倍（50cc） | －<br>14日前まで<br>前日まで | －<br>5回以内<br>3回以内 | | | ／ | | |
| 8月中旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．フリントフロアブル25<br>3．バリアード顆粒水和剤 | 2,000倍（50cc）<br>2,000倍（50cc）<br>2,000倍（50g） | －<br>前日まで<br>前日まで | －<br>4回以内<br>3回以内 | 600ℓ | 1．カイガラムシの被害が発生している園地ではコルト顆粒水和剤3,000倍（前日、3回以内）を混用する。ル レクチエに薬害のおそれがあるので飛散させない。 | ／ | | |
| 8月下旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病、胴枯病<br>シンクイムシ類 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．トップジンM水和剤<br>3．エクシレルSE | 2,000倍（50cc）<br>1,500倍（66.6g）<br>5,000倍（20cc） | －<br>前日まで<br>前日まで | －<br>6回以内<br>3回以内 | 600ℓ | 1．早生種（オーロラ等）、中生種（バラード等）はトップジンM水和剤に替えてオーソサイド水和剤80　600倍（3日前、9回以内）を使用する。なお、他樹種への飛散に注意する。 | ／ | | |
| 9月上旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1．オーソサイド水和剤80<br>2．アグロスリン水和剤※1 | 600倍（166.6g）<br>1,000倍（100g） | 3日前まで<br>前日まで | 9回以内<br>3回以内 | 600ℓ | 1．ナシヒメシンクイの発生、産卵時期なので、散布むらのないようにていねいに散布する。 | ／ | | |
| | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1．ファンタジスタ顆粒水和剤<br>2．アグロスリン水和剤※1 | 3,000倍（33.3g）<br>1,000倍（100g） | 前日まで<br>前日まで | 3回以内<br>3回以内 | | | ／ | | |
| 9月中旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病<br>シンクイムシ類<br>カメムシ類 | 1　ストライド顆粒水和剤<br>2．バリアード顆粒水和剤 | 1,500倍（66.6g）<br>2,000倍（50g） | 前日まで<br>前日まで | 3回以内<br>3回以内 | 600ℓ | 1．薬害防止の為、高温時（25度以上）の散布は避ける。<br>2．ストライド顆粒水和剤は日本なしに登録がないので飛散させない。 | ／ | | |
| 9月下旬 シンクイムシ重点防除 | 輪紋病　胴枯病<br>シンクイムシ類、ハマキムシ類 | 1．スクレアフロアブル<br>2．ヨーバルフロアブル | 3,000倍（33.3cc）<br>5,000倍（20cc） | 前日まで<br>前日まで | 3回以内<br>2回以内 | 600ℓ | | ／ | | |
| 収穫後 | 黒斑細菌病 | 1．アビオン－E（展着剤）<br>2．ICボルドー412 | 2,000倍（50cc）<br>30倍（3.3kg） | －<br>－ | －<br>－ | 600ℓ | 1．収穫が終わっていない他樹種へ飛散させない。 | ／ | | |
| 落葉後 | 越冬病害虫 | 1．石灰硫黄合剤 | 10倍（10ℓ） | 発芽前 | － | 300ℓ | | ／ | | |

**収穫前使用時期で「前日」とは24時間前である。**　オーソサイド水和剤80、キャプレート水和剤、オキシラン水和剤などキャプタンを含む剤の使用基準は合計で9回以内である。　オキシラン水和剤、オキシンドー水和剤80、キノンドーフロアブルなど有機銅を含む剤の使用基準は合計で9回以内である。※1 合成ピレスロイド剤は蚕毒・魚毒が強いので、桑園・養魚池、河川などの近くでは絶対に使用しない。
※2 バイカルティは、日持ちの向上が期待できる。